



第 29 号

R2.12.23

文責 倉迫

建学 145 年

第 2 学期人権学習

前号からの続きです。各学年の年間計画と子どもたちの実態に合わせて人権学習を進めます。各学年の実践や子どもたちの反応をお知らせします。前回同様、①教材名 ②学習内容 ③子どもの反応 の順です。

①教材名 ②学習内容 ③子どもの反応 の順です。

1 年生

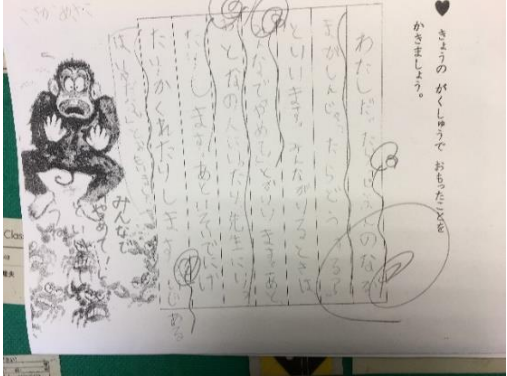
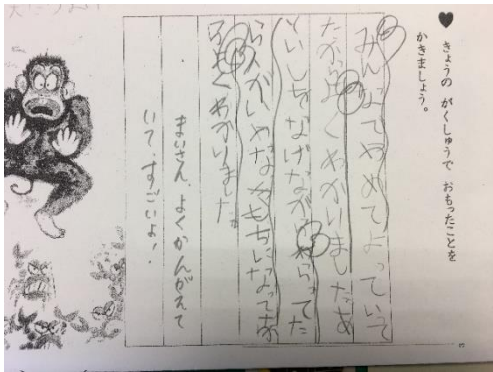
① さるとかに (出典 にんげん)

② ひまだから、たいくつだからという自分勝手な理由で石投げを始めたさる。谷底にいたカニたちに投げ、カニたちは命が危ない。「やめて。」と言ってもやめないさるに、一匹のカニが大きな声で、「やめてくれ。」と叫ぶ。それが大きな力となって、みんなでさるに向かって「やめろ。」と訴える。いじめにみんなで立ち向かっていくことの大切さを話し合った。

③ ○自分勝手な理由で、いじめているさるの行動に、「してはいけないこと」「相手の気持ちがわからないの」と発言していました。

○カニはどうしたらいいか話し合うとき、「先生やお家の人に言う。」「やめてと言う。」「みんなで言ったらいい。」など気づいていきました。

※1 年生は、不正なことやいじめに対して、一人じゃなくみんなの力を集めて立ち向かっていく大切さについて学んでいます。



4年生

- ① 私にできることはありますか。
 - ② 相手が困っている時や助けを必要としているときに、その気持ちを押し量り、どうすることが相手にとって親切なのかを考えて行動することが、本当の思いやりであることに気づき、より良い人間関係を積極的につくっていかうとする心情を高める。
 - ③ ○「何かできることはある？」と相手がたのみやすいようにしているところがすごいと思いました。ぼくもそういう親切ができるようになりたいです。
○親切にするにも、人の気持ちを考えることが大切だとわかりました。今までそういうことを考えていなかったの、これからは考えて行動したいです。
- ※ 4年生は、価値的にやや高い内容について学習していますね。まずは、直接的な親切から、上記の学習内容にあるように、相手に合わせた親切ができるようになると素晴らしいです。

スマイルプロジェクト第3弾

企画委員会による「スマイルプロジェクト第3弾」『友だちの いいところさがし』が実施されています。友だちのことを知るきっかけになったり、今まで知らなかったいいところを知ったりすることにもつながります。友だちの新しい一面を知ることは、新しい友だち関係を気づく助けになるかもしれません。

制約の多い第2学期の中で、学校生活を楽しいものにし、笑顔を増やす取組み、本当にありがたいなと感じています。

コロナ禍の中での学校生活で、様々な行事が中止になったり縮小されたりしていましたが、そのような中で子どもたちは、アイデアを生かし、今までとは少し違う形で充実した内容を考え取り組んでいます。これからの予測不可能な時代を生き抜く力が、少しずつ培われているように感じます。

明日から冬休みに入りますが、まだまだ感染拡大が続いています。感染予防に留意しながらの冬休みになると思いますが、楽しい有意義な休みになることを願っています。保護者の皆様、第2学期の五福校学校教育へのご理解・ご協力、ありがとうございました。

